

静岡県立特別支援学校施設整備基本計画概要

1 計画期間

2017年度から2026年度までの10年間

2 整備方針

- ・ 知的障害を対象とする特別支援学校の施設狭隘化及び通学負担を最も優先度の高い課題と捉え、それを解消する整備を行う。
- ・ 知的障害を対象とする特別支援学校の施設狭隘化と通学負担以外の課題は、整備時に必要な対策を講じる。
- ・ 知的障害以外の障害種を対象とする特別支援学校における課題は、必要に応じ対策を講じる。

3 整備着手箇所

(1) 2017年度から2021年度までに着手する箇所

障害種	地区	主 な 課 題			整 備 内 容	
		関係学校	施設狭隘化	通学負担		
知的	御殿場・裾野	御殿場特別支援学校	○		高等部分校新設	
	三島田方	沼津特別支援学校	○	○	東部特支移転跡地に本校新設	
	富士・富士宮	富士特別支援学校	○		高等部分校新設	
	静岡	岡	静岡北特別支援学校	○	○	本校新設
			清水特別支援学校	○		
	浜松	松	浜北特別支援学校	○	○	旧気賀高校跡地に本校新設 高等部分校新設
			浜名特別支援学校	○	○	
浜松特別支援学校			○	○		

(2) 2022年度から2026年度までに着手する箇所

2021年度に、児童生徒数の推移を含む課題の解消状況を検証し、決定・公表

4 現状の特別支援学校整備の課題

(1) 本計画で解消する最も優先度の高い課題

- ・ 施設狭隘化
- ・ 児童生徒の通学負担

(2) その他の課題

- ・ 施設老朽化
- ・ 防災対策の強化
- ・ 医療的ケアが必要な児童生徒の増加
- ・ 個々のニーズに対応した進路実現
- ・ 障害者スポーツの振興
- ・ 食形態にあわせた摂食指導
- ・ 病弱特別支援学校における関係機関との連携
- ・ 空調設備の設置